42.6 km の進化を
今、そして未来へ

令和６年１２月２３日
国土交通省中部地方整備局
名四国道事務所

－　記者発表資料　－

半世紀のときを経て
名豊道路が全線開通します！
蒲郡ＢＰ 豊川為当ＩＣ～蒲郡ＩＣ
令和７年３月８日(土)開通

＜概要＞

国道２３号 名豊道路 蒲郡バイパス 豊川為当IC～蒲郡IC間（延長9.1km）が令和７年３月８日（土）に開通しますのでお知らせします。

今回の開通により、名豊道路全線が暫定２車線で開通となります。

◆開通区間の概要◆

①今回開通区間：国道２３号 名豊道路 蒲郡バイパス
豊川為当インターチェンジ（愛知県豊川市為当町）～
蒲郡インターチェンジ（愛知県蒲郡市清田町）
延長 ９.１ｋｍ（暫定２車線（上り・下り各１車線））

② 開　通　日　：令和７年３月８日（土）

※開通時間や通行形態など詳しい内容については、後日お知らせします

＜配付資料＞

別紙１：名豊道路の概要
別紙２：物流効率化：日本を支える「自動車産業」！さらなる成長に貢献！
別紙３：地域産業の支援：新鮮な農産物をお届け！地域産業を支援！
別紙４：防災・減災：災害時の迅速な活動を支援！

記　者　発　表　ク　ラ　ブ
中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、豊橋市政記者会、岡崎市政記者会、豊川市政記者クラブ、刈谷市政記者クラブ、安城市役所記者室、西尾市記者室在籍報道機関、蒲郡記者クラブ、豊明記者クラブ、田原市政記者クラブ

問　い　合　わ　せ　先
国土交通省　中部地方整備局　名四国道事務所　ＴＥＬ：０５２－８２３－７９１１ 副所長　大熊 健史　　計画課長　大田 貴之

つながる中部42.6
令和6年度開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR

2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す
World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETwork

別紙１

名豊道路の概要

■事業概要

国道２３号名豊道路は、名古屋市と豊橋市を結び沿線の８市１町を通過する延長72.7kmの高規格道路です。

名豊道路は、知立、岡崎、蒲郡、豊橋、豊橋東バイパスの５つのバイパスによって構成されており、所要時間の短縮、物流効率化、災害に強い道路機能の確保等の様々なストック効果の発現が期待されます。

今回の開通により、昭和47年の一部区間の事業化から半世紀のときを経て、名豊道路が全線開通となります。

【写真】豊川為当インターチェンジ（R6.10撮影）

（令和6年12月時点）

※名豊道路建設推進協議会に所属する自治体（豊橋市、岡崎市、豊川市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、知立市、豊明市、田原市、幸田町）

◆開通区間の概要◆

①今回開通区間：国道２３号 名豊道路 蒲郡バイパス
豊川為当インターチェンジ（愛知県豊川市為当町）～
蒲郡インターチェンジ（愛知県蒲郡市清田町）
延長 ９．１ｋｍ（暫定２車線（上り・下り各１車線））

② 開　通　日：令和７年３月８日（土）

国道23号 名豊道路 全線開通特設ページにおいて、
工事状況写真や整備効果などを紹介しています。
（https://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/works/meiho/pdf/tokusetsu_top.pdf）

期待される効果(物流効率化を支援)

WISENET2050への対応
経済成長・物流強化
低炭素で持続可能な道路の実現

別紙2

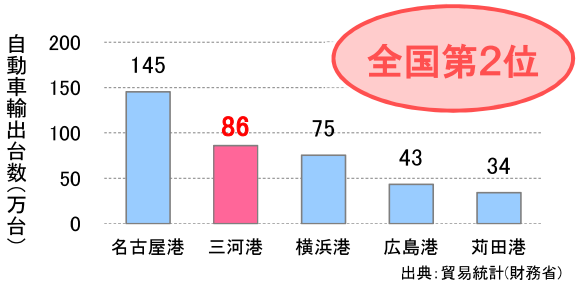
日本を支える「自動車産業」！さらなる成長に貢献！

■名豊道路に直結する三河港は、完成自動車を含む機械類及び輸送用機器が輸出額の約97%を占め、完成自動車の輸出台数が全国第２位と、全国を代表する完成自動車の輸出港です。

■名豊道路が全線開通することで、自動車組立工場から三河港までの完成自動車の輸送時間が短縮し、さらには輸送回数の増加等の効果が期待されます。

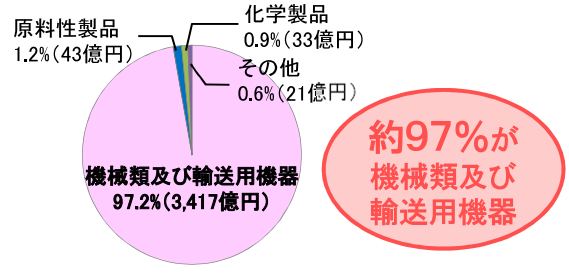
○名豊道路を利用する完成車輸送便数

○港湾別自動車輸出台数順位(令和5年)



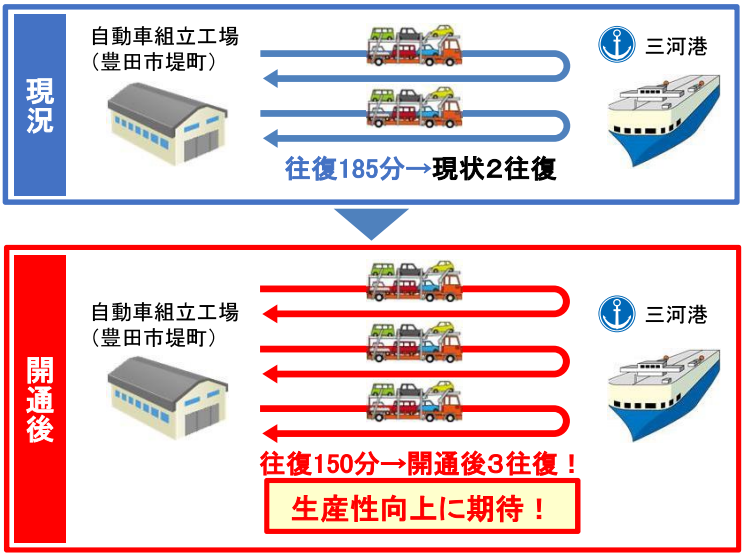
出典：貿易統計(財務省)

○三河港の輸出額内訳（令和6年4月）



出典：豊橋税関支署管内　貿易概況（速報）（名古屋税関）

○開通による三河港への輸送回数の増加



速度条件：（現況）ETC2.0プローブ情報（令和6年6月平日 昼間12時間平均旅行速度）
（開通後）既開通区間：ETC2.0プローブ情報（令和6年6月平日昼間12時間平均旅行速度）
未開通区間：現行の規制速度（60km/h）

期待される効果(地域産業の支援)

WISENET2050への対応
経済成長・物流強化
低炭素で持続可能な道路の実現

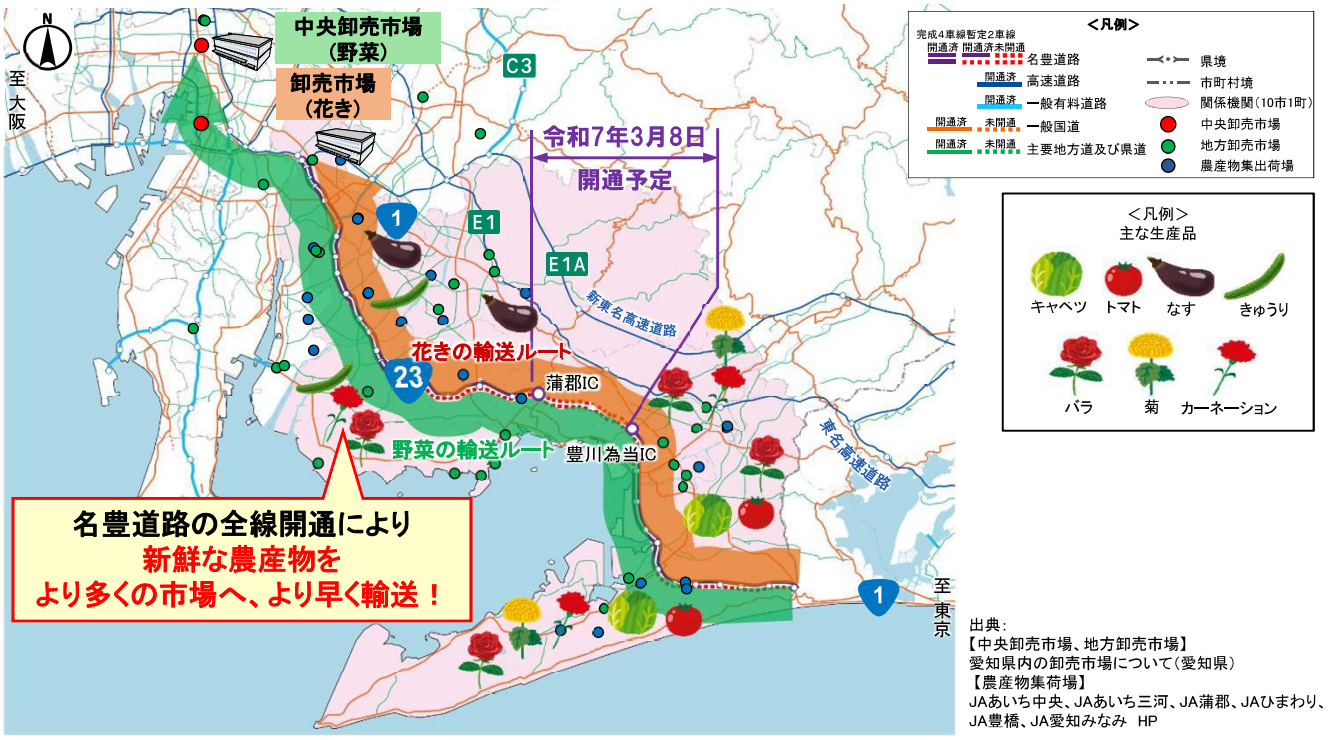
別紙3

新鮮な農産物をお届け！地域産業を支援！

■愛知県は、野菜産出額は全国第5位、花き産出額は全国第1位に位置するなど、全国的にも農業が盛んであり、名豊道路沿線市町は、愛知県内の野菜産出額の約７割、花き産出額の約８割を占めます。

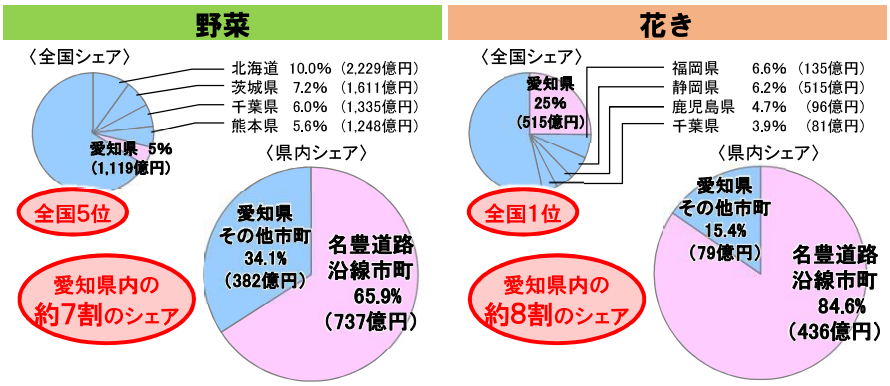
■名豊道路沿線には、多くの卸売市場や農産物出荷場が分布しており、全線開通により、新鮮な農産物をより早く市場に届けられるようになるなど、地域産業を支援します。

○名豊道路沿線市町の農産物集荷場及び卸売市場の分布



出典：
【中央卸売市場、地方卸売市場】
愛知県内の卸売市場について（愛知県）
【農産物集荷場】
JAあいち中央、JAあいち三河、JA蒲郡、JAひまわり、JA豊橋、JA愛知みなみ　HP

○名豊道路沿線市町[注1)]の野菜及び花きの産出額（令和4年）



出典：令和4年 農業総産出額及び生産農業所得（農林水産省）

注1）沿線市町：豊明市、刈谷市、知立市、安城市、西尾市、岡崎市、幸田町、蒲郡市、豊川市、豊橋市、田原市

○三河地方の主な野菜、花き

・道路整備が進展し、輸送時間が削減されれば、より鮮度の高い状態・荷痛みの少ない状態で輸送できるようになり、納品先からのクレーム減少・評価向上につながると期待しています。（JAあいち経済連）

出典：名四国道事務所ヒアリング調査
（令和4年8月実施）

期待される効果(防災・減災)

WISENET2050への対応 地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

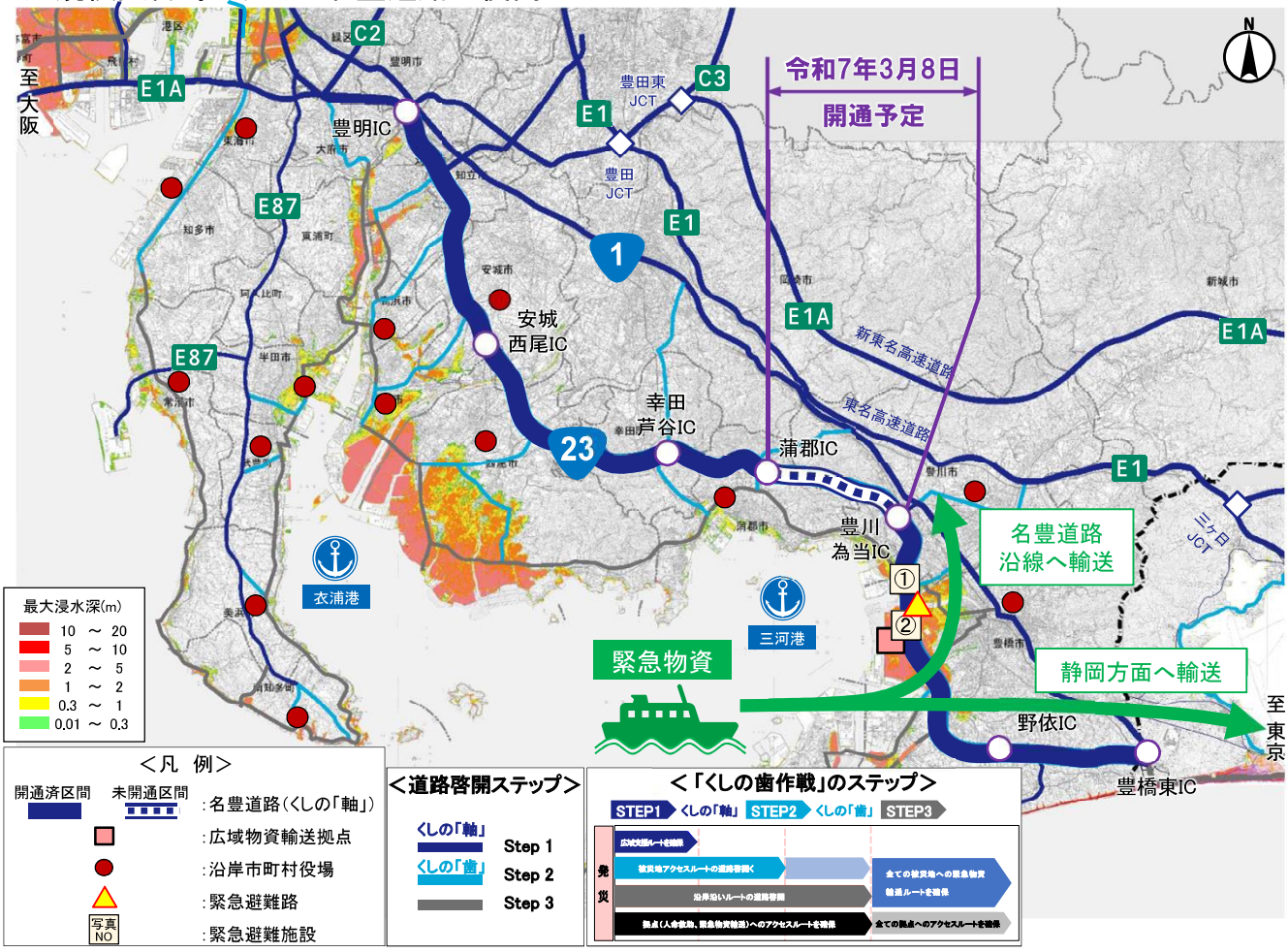
別紙4

災害時の迅速な活動を支援！

■三河地域の太平洋沿岸部は、東海・南海・東南海の3連動地震発生時に津波浸水被害が懸念される地域です。

■浸水区域内では、津波被害を受けにくい高架構造で整備されており、被災時には三河地域沿岸部への救援・救助活動、人員・物資輸送を担う道路として、災害時の迅速な活動を支援します。

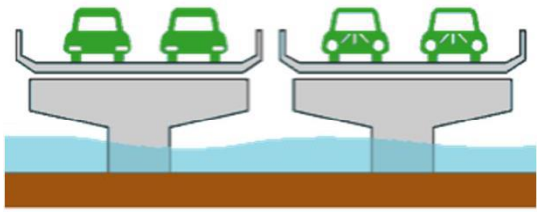
○大規模災害時における名豊道路の役割



出典：中部版「くしの歯作戦」(令和6年5月版)　中部地方幹線道路協議会道路管理防災・震災対策検討分科会

○津波による被害を回避

高架構造により
避難・救助・復旧・
復興活動に寄与

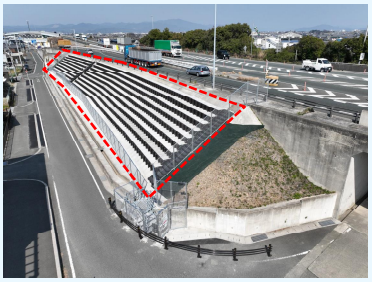


○防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策例

【盛土法面に緊急避難施設を設置】

＜津波や洪水時からの浸水避難＞

①豊橋市前芝



②豊橋市富久縞